

## 評価シート 様式

取組名	由布院サステナブルツーリズムプロジェクト		
実施団体名	由布院サステナブルツーリズム協議会	対象地域	大分県由布市由布院地区
(代表団体名)	由布院温泉観光協会	推薦団体名	由布市

① 実施 状 況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体 制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効 果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継 続 展 開 の 見 込 み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	由布院サステナブルツーリズムプロジェクト		
実施団体名	由布院サステナブルツーリズム協議会	対象地域	大分県由布市由布院地区
(代表団体名)	由布院温泉観光協会	推薦団体名	由布市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見 観光地の貴重な資源である自然環境や景観の保全を前提とした新たな観光プログラムの提供により、持続可能な観光振興をはかろうとする全国的にもモデル性の高い事業である。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	<p>本取組は、著名な観光地である由布院において、過剰な交通の流入や不統一な建築物・施設の乱立などにより劣化する可能性のある環境、景観などの保護と質の高い地産地消の食事メニューや利便性の高い情報の提供を通じて観光地としての質を維持しようとする取組であり、看板など景観の劣化要因の排除と二次交通手段の導入による自動車交通流入の抑制を積極的に実現しようとする点が評価できる。今後、以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより継続的な展開が期待できるものである。</p> <p>すでに取組内容はモデル性を有しているが、本格展開時には他機関からの支援によらない完全に自立した運営体制を構築するなど、より高いレベルの目標を設定して取組を深化させる必要がある。このため、次年度以降については、行政や関係者との連携を強化して、景観や交通に対する取組のルール化、システム化を進めるとともに、様々な業種の新規参入者に対する由布院の観光地イメージへの理解と観光地としての質の維持に対する協力をはかる仕組みの構築を行い、それぞれ自立的な展開を図るべきである。</p> <p>個別の取組においては、地産地消情報物流システム構築とゆふいんバザール開催については、既に本年度において地産地消の地域内流通ベースが構築済みであり、むしろ地産地消の実証として市場以外にも旅館との連携を試みるべきである。看板・ファサードデザイン検討と官民連携型コミュニティガーデン実証実験では、看板の除去等由布院らしさを取り戻すことを目指した本年度の取組に対して相反する可能性があり、再考を要する。環境に配慮したパーク&amp;アートバスライド事業の継続実施と公共交通利用策の実施については、本年度の取組成果をもとに、バス会社との連携などにより地域への定着を図る取組に絞って行うべきである。総合情報センターの運営と滞在型ビジネスモデル・人材育成システム実証実験では、販促につながる総合情報センターの運営に傾注すべきである。多様性のある滞在型健康づくりメニュー「クアオルトプラン」実証実験では、そのニーズ、効果が不明瞭であるため、取組を拡大せず、当初事業の確実な自立的運営を目指すべきである。</p>